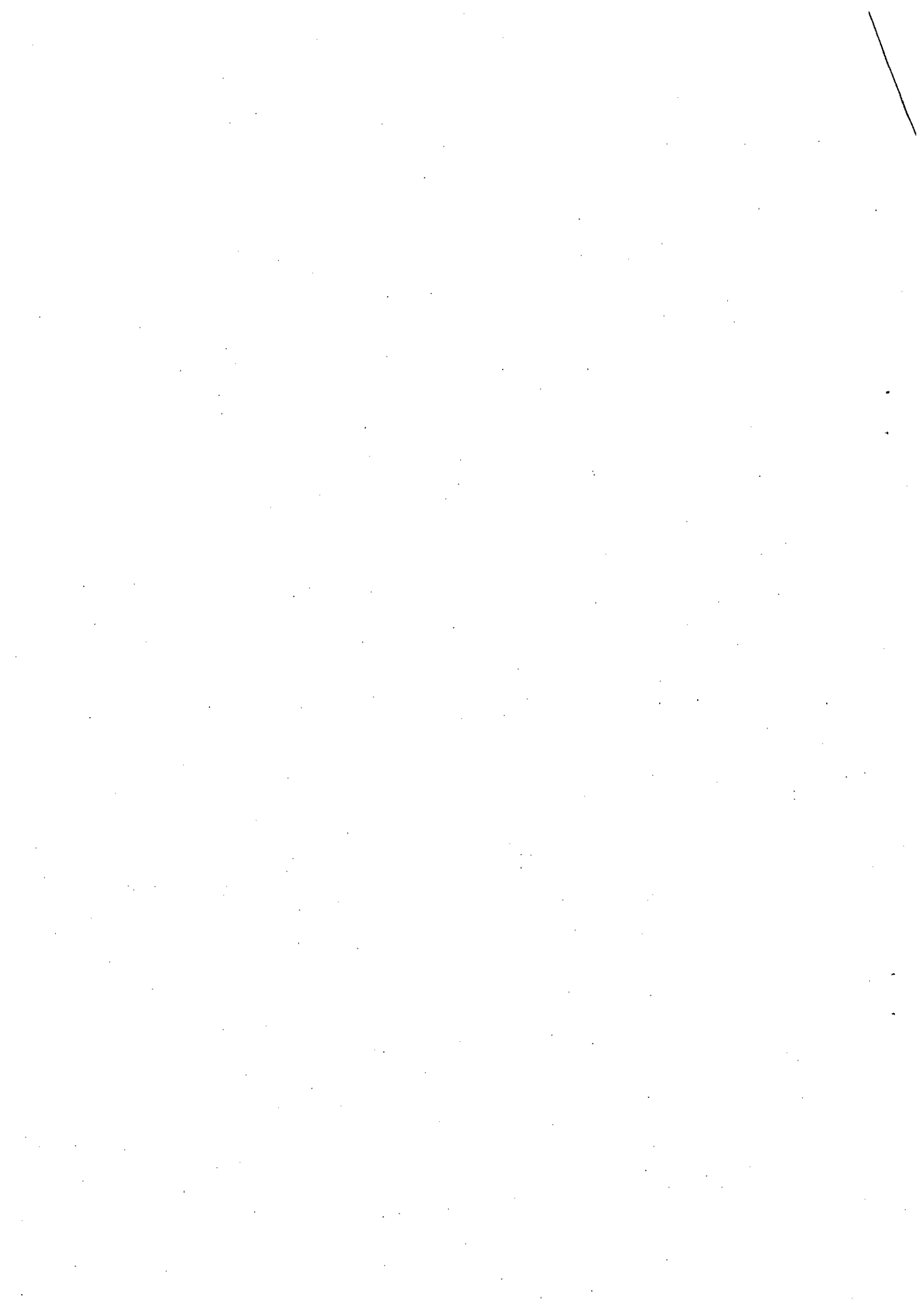


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成 30 年 2 月 23 日)

- 1 鳥取県民泊制度活用ガイドラインの策定について
【観光戦略課】・・・・・・・・ 1 ページ
- 2 「関西観光・文化振興計画」の改訂について
【観光戦略課】・・・・・・・・ 3 ページ
- 3 エアソウル米子ソウル便の増便継続及び利用実績について
【観光戦略課】・・・・・・・・ 6 ページ
- 4 県内発着の国際チャーター便の状況について
【観光戦略課】・・・・・・・・ 7 ページ
- 5 (公財)鳥取県国際交流財団事務所の移転リニューアルについて
【交流推進課】・・・・・・・・ 8 ページ
- 6 「2018 平昌冬季オリンピック」の開幕式等への参加結果について
【交流推進課】・・・・・・・・ 9 ページ
- 7 第 6 回まんが王国とっとり国際マンガコンテスト表彰式「マンガアワード SHOW」
の開催について
【まんが王国官房】・・・・ 11 ページ
- 8 伯耆国「大山開山 1300 年祭」関連のトピックス、行事等について
【西部総合事務所地域振興局】・・・・ 12 ページ

観光交流局



鳥取県民泊制度活用ガイドラインの策定について

平成30年2月23日
くらしの安心推進課
観光戦略課

平成30年6月15日に住宅宿泊事業法が施行されることを踏まえ、本県の民泊活用に向けた制度のあり方及び施策等について旅館ホテル業、不動産業、民泊実施者等で構成する鳥取県民泊活用検討会において検討を行っているので、その状況について報告します。

1 鳥取県民泊制度活用の方向性について

- 本県の民泊のあり方等について、市町村及び検討会委員に対し、条例による実施の制限の必要性及び民泊の活用の取組についてのアンケート（12月～1月）を行った。
- 結果は、実施の制限に関する条例については、「現時点での条例制限は必要ないが、法施行後に問題が認められれば、条例規制について検討を行うこと」が大多数であり、この方針について第2回鳥取県民泊活用検討会（1月26日開催）に提案、了承された。
- アンケート結果では「民泊でのトラブル発生を懸念」する意見もあったことから、「県として民泊に対するガイドラインを策定し、適正な事業実施を確保すること」とし、ガイドライン（素案）を提案したところ、その方向性について了承され、3月中に第3回検討会を開催しガイドラインの成案を取りまとめることにしている。

2 鳥取県民泊制度活用ガイドライン（素案）の概要

(1) 民泊に係る基本的な考え方

民泊を「まちなか民泊」と「交流型民泊」に区分し、タイプ別に県の対応方針等を設定する。

まちなか民泊

マンション・アパートの空き室、空き家の活用を目的とし、主に都市計画区域で行われる家主不在型の民泊をいう。

交流型民泊

ホストとの交流や、文化・暮らしの体験など、地域とのふれあいを楽しむことを目的とし、主に農山漁村部で行われる民泊をいう。（例：田舎体験、家業体験、農泊、教育旅行）

(2) 本県の対応方針

- ・都市部における民泊では、地域住民とのトラブル発生等様々な問題の発生が懸念されるため、「まちなか民泊」に対して重点的に指導監督を行っていく。
- ・「交流型民泊」は、本県の魅力を打ち出し、県内観光業全体の質を高め、地域の活力づくりにも効果が見込まれるため、積極的に推進していく必要がある。

(3) 指導監督体制

①立入検査

- ・「まちなか民泊」については、重点的に立入検査を実施する。（届出受理時及び年2回）
- ・「交流型民泊」については、苦情等の発生時にのみ立入検査を実施する。

②無届行為の把握

- ・定期的にインターネットパトロールを実施することにより、無届営業者の探知を行う。

③事業者の公表

- ・住宅宿泊事業者の届出番号及び住所等をホームページで公表する。

④専用相談窓口の設置

- ・国が設置するコールセンターとは別に、県独自の苦情相談窓口を設置する。

東部地区	東部生活環境事務所（4/1～鳥取市保健所）
中部地区	中部総合事務所（生活環境局）
西部地区	西部総合事務所（生活環境局）

(4) 支援体制

「交流型民泊」を推進していくため、以下により支援する。

①補助金による支援

- ・特徴ある宿泊を提供する民泊事業者、民泊推進団体等に対して、施設整備や観光素材の磨き上げに要する経費を支援する。

②届出等の手続サポート

- ・民泊を実施するために必要な様々な法令手続（旅館業法、住宅宿泊事業法、建築基準法、消防法、食品衛生法等）及び補助金の申請に関して、ワンストップで相談できる窓口（（3）④県独自の苦情相談窓口と同じ）を設ける。

【参考】第2回鳥取県民泊活用検討会での主な意見

- ・民泊タイプは、家主等が常駐するか否かで区分し、さらに、常駐型で交流するタイプであれば支援するのが筋ではないか。
- ・周辺住民の不安解消には、民泊が行われることを周辺住民が知っていることが大事ではないか。
- ・民泊支援補助金については、悪意ある人を排除できるような仕組みが必要ではないか。

【鳥取県民泊活用検討会委員】

氏名	所属等	備考
山下 博樹（委員長）	鳥取大学地域学部地域政策学科教授	
山本 潤一	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長（旅館業）	
中島 伸之	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合副理事長（旅館業）	
安養寺 亨	鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合常務理事（ホテル業）	
山根 卓也	（公社）鳥取県宅地建物取引業協会理事	
丹波 恭子	（公社）全日本不動産協会鳥取県本部本部長	
藤原 俊文	五しの里さじ地域協議会会長	
松本 佳代子	（一社）鳥取中部観光推進機構事務局員	
原 麻美	解放 Guest House 勝造オーナー	
村上 誘子	公募委員、元鳥取市自治連合会理事	

3 今後の予定

時期	内容
3月9日	第3回鳥取県民泊活用検討会（最終回）の開催 ・民泊制度活用ガイドライン（素案）の最終とりまとめ ・民泊の活用施策の最終とりまとめ
3月15日	事前届出開始（準備行為）
3月20日	常任委員会で報告 ・民泊制度活用ガイドライン及び民泊の活用施策
6月15日	住宅宿泊事業法の施行

「関西観光・文化振興計画」の改訂について

平成30年2月23日
観光戦略課・文化政策課

関西広域連合では、「関西観光・文化振興計画」（平成24年3月策定、平成27年3月改訂）の現計画期間が満了するため、近年の訪日旅行者の急増などインバウンド観光を取り巻く市場や社会情勢の変化等を踏まえた計画改訂に向けて検討を進めてきました。この次期計画の最終案が取りまとめられましたのでご報告します。なお、この最終案は関西広域連合議会（3月3日）において議案として提出される予定です。

1 戦略テーマに新たに追加・修正された内容

(1) 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

国際的スポーツイベントで多数訪れる観光客の誘客や文化プログラムの実施による関西文化に親しむ機会の提供、また、スポーツツーリズムの推進等を新たに記載

(2) 文化力の向上と文化観光の推進

文化庁の関西移転を契機とした「文化首都」関西の発信、文化力の向上、歴史的な観光ルートの開発、文化財の観光資源化を新たに記載

(3) 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

インフラ整備の中心となる「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (Official)」の利用範囲の拡大や他地域との連携による利便性向上の取組など記載内容を充実

(4) 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

現行計画に引き続き、周遊ルートや関西の魅力発信などを記載

(5) 旅行消費額拡大に向けた取組

旅行消費額拡大に向けた情報発信、決済環境の整備などを新たに記載

(6) 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

関西の観光をマネジメントする関西観光本部の体制強化について新たに記載

(7) 「今後のさらなる展開」に以下の各項目を記載

- ・ 特定複合観光施設（IR）にかかる構成府県市の動向を踏まえた上での連携
- ・ 2025年国際博覧会の関西への誘致、開催決定した際の誘客促進の展開
- ・ 次世代を担うプロデューサーや観光人材、通訳案内士、ボランティア等の人材育成

2 当初計画策定（平成24年3月改定）以降の大きな社会情勢等の変化

- ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021 関西の大規模な国際スポーツイベントの開催決定
(決定：ラグビーWC：H27年3月、東京オリパラ：H25年9月、WMG：H25年10月)
- 文化庁の関西への本格移転の決定（H28年3月）
- 訪日外国人観光客の急増（H24：約836万人からH29：約2,869万人）
- 一般財団法人関西観光本部の設立（H29年4月）

3 関西の目指すべき将来像

現計画で掲げていた将来像「アジアの文化観光首都」となることはすでに達成しているとの観点から、次期計画では『「アジアの文化観光首都」の地位の確立』とした。

4 計画期間

次期計画は、ワールドマスターズゲームズ2021 関西が開催される平成30年度～平成33年を一区切りとして策定する予定

関西観光・文化振興計画(案)の概要

関西観光・文化振興計画の概要

1 計画期間

ワールドマスタースゲームズ 2021 関西が開催される平成 33 (2021) 年までの期間

2 基本方針と将来像

(1) 基本方針

- ① 国際観光なくしてKANSAIの発展なし
- ② 文化観光資源の宝庫・強みを活かす
- ③ 関西ファンをつくる
- ④ 文化芸術の継承・創造を通じて観光を振興する
- ⑤ 「関西は一つ」になって国際観光振興と文化振興に取り組む

(2) 将来像

アジアの
文化観光首都・関西
としての地位の確立

3 現状と課題

(1) 現状

ワールドマスタースゲームズ 2021 関西などの大規模スポーツイベント、文化庁の関西への本格移転等と連携した取組や、急激に増加する外国人観光客に対応するための受入環境の整備が必要。

(2) 課題

大規模スポーツイベントへの対応や、入込客数・旅行消費額の増加を念頭に置いた誘客推進・受入環境整備等の課題への速やかな対応。様々な文化資源の魅力向上と国内外への発信、積極的活用。

【解決に向けた方向性】

- ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック、ワールドマスタースゲームズ 2021 関西に向けて
- 文化芸術資源の活用による観光と文化振興の相乗効果
- 外国人観光客の受入体制の整備
- 関西ブランドの構築と発信
- 旅行消費額の拡大
- 戦略的マーケティングの必要性

4 目標

広域観光圏関西のブランド力、周遊力、滞在力をさらに高めていくため、東京オリンピック・パラリンピックの開催される 2020 年をターゲットイヤーとして、① 関西により多くの外国人観光客に訪れてもらう、② 関西を広く周遊し長く滞在してもらう、ことで関西ファンの拡大を目指す。

	2013 年	2020 年
関西への訪日外国人訪問率	33.3%	45.0%
関西への訪日外国人旅行者数	約 345 万人	1,800 万人
関西での外国人延べ宿泊者数	793 万人	3,700 万人
関西での訪日外国人旅行消費額	約 4,700 億円	3 兆円

5 目標達成のための戦略

① 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

- ・国際的なスポーツイベントと連動した誘客、WMG組織委員会との連携、国際博覧会の誘致
- ・関西文化創造の検討、関西文化に親しむ機会の提供、伝統芸能の活用
- ・スポーツ・アクティビティの掘り起こし、情報発信、施設の多言語対応

② 文化力の向上と文化観光の推進

- ・アジアの文化首都のイメージの発信、文化庁と連携した取組の推進
- ・「文化の道」事業の展開による関西文化の認知度向上、ブランド力の向上
- ・文化遺産を結ぶ歴史的・文化的ストーリーの発掘等による観光ルートの開発
- ・活用可能な庭園・建築物や伝統文化体験等の観光資源化の推進
- ・位置情報・AR・VRなどの新技術を活用した多言語解説等の「魅せる文化財」づくり
- ・美術館や博物館、伝統芸能の舞台等の外国人が鑑賞しやすい環境整備

③ 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

- ・「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi(Official)」の利便性向上
- ・関西国際空港のアクセス向上、新規路線の開設・拡大
- ・観光案内標識等の多言語対応の強化、ムスリム対応の拡大
- ・外国人観光客の安心・安全確保の取組の推進
- ・地方空港やクルーズ船など、新たなゲートウェイからの誘客促進
- ・地方・旅館等への誘導等による宿泊客の分散化、優良な民泊の情報発信
- ・エンターテインメント性・利便性・安心安全の向上のための新技術の活用
- ・新しいビジネスの成長につながる規制緩和等の国への要望

④ 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

- ・文化財の活用等による周遊ルートづくり、体験プログラムの充実
- ・関西のコア・コンセプト「はなやか関西」を活用した「KANSAI」の世界への発信
- ・関西の多様な魅力の「KANSAI国際観光YEAR」を通じた展開
- ・関西の見どころのタイムリーな発信、「地質の道」など新たな観光スタイルの確立
- ・ファムトリップ等によるFIT（個人旅行者）へのアピール

⑤ 旅行消費額拡大に向けた取組

- ・「モノ消費」「コト消費」双方の情報発信、ナイトライフに関する情報発信
- ・免税店の拡大、決裁環境の変化に対応した整備の推進

⑥ 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

- ・関西観光本部のマネジメントによるビジネス視点での観光文化振興
- ・効果的な誘客のための外国人旅行者の動向把握
- ・文化施設を無料開放する「関西文化の日」を通じた誘客促進、多言語化による情報発信
- ・外国人旅行者の動向を把握したうえでの国・地域別戦略の推進
- ・SNS等、多様な発信手段を用いた誘客、芸術文化情報の発信

⑦ 今後のさらなる展開

- ・I R実施法の内容等を踏まえた広域的な観光・MICEの連携
- ・2025年国際博覧会の大阪誘致の取組、開催決定後の連携した誘客の展開
- ・国際的なスポーツイベントを契機とした観光誘客の取組のレガシーとしての継続・発展
- ・プロデューサー等、若手の人材が活躍できる環境づくり
- ・観光学部の子生等、観光産業で活躍できる人材の育成
- ・通訳案内士のスキルアップ研修の実施、WMGに向けたボランティアの育成

エアソウル米子ソウル便の増便継続及び利用実績について

平成30年2月23日
観光戦略課

エアソウル米子ソウル便の平成30年夏ダイヤの運航計画が発表され、米子・ソウルを結ぶ国際定期航空便の増便（週5便化）が継続となりますので、以下のとおり報告します。

1 エアソウル米子ソウル便の平成30年夏ダイヤの運航計画概要

○期間 平成30年3月25日（日）～平成30年10月27日（土）

○機種 A321-200（195席）

○運航スケジュール（※木・土曜日の2便の増便が継続）

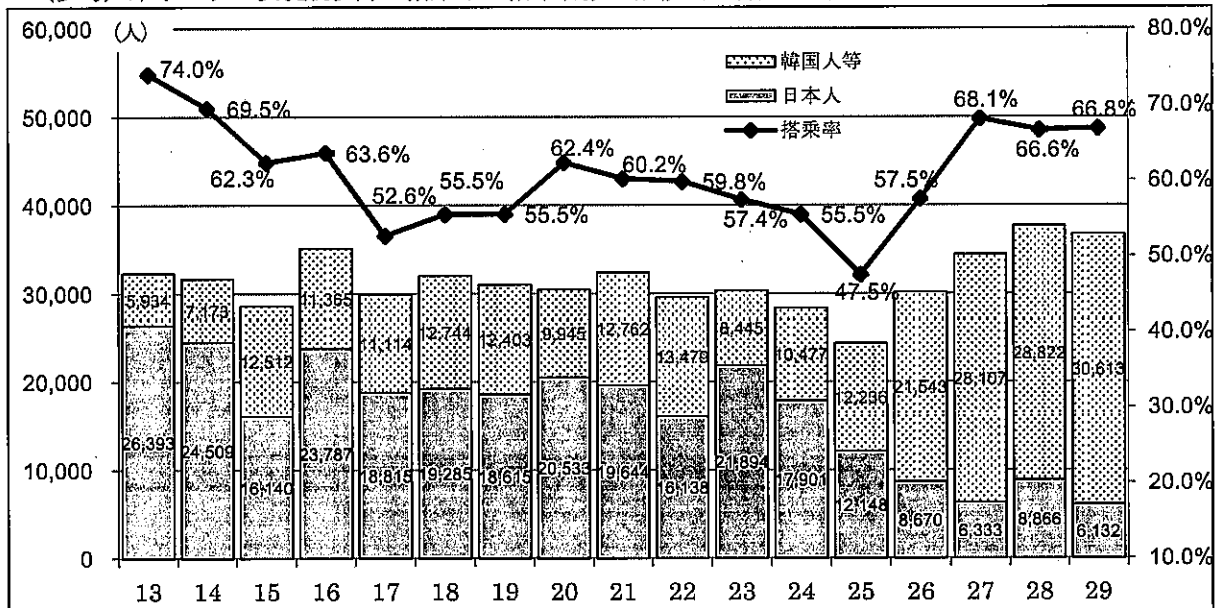
運航曜日	運航時間（便名）		備考
	仁川→米子	米子→仁川	
火	12:30→14:00(RS742)	15:00→16:40(RS741)	
木	10:50→12:20(RS744)	13:35→15:05(RS743)	※時間変更
金	9:30→11:00(RS742)	12:00→13:30(RS741)	
土	11:05→12:35(RS744)	14:00→15:35(RS743)	※時間変更
日	12:30→14:00(RS742)	15:00→16:40(RS741)	

2 エアソウル米子ソウル便の利用実績

冬季（12/23～3/24）増便の効果により、平成30年1月の利用実績は米子ソウル便就航（平成13年4月2日）以来初となる搭乗者数5千名を突破するとともに、韓国人搭乗者数も就航以来最多、日本人搭乗者数も今年度最高記録を更新しました。

搭乗率61.9%、搭乗者数5,068人（韓国人4,149人、日本人844人、その他75人）

（参考）米子ソウル便就航以降の搭乗率・搭乗者数の推移（※平成29年度は1月までの実績）



3 今後の主な利用促進対策

[アウトバウンド]

- ・1月の搭乗者が5千名を超えたことを記念し、エアソウルファンクラブ会員向けに往復航空券を5千円で販売するスペシャルキャンペーンを実施中。また、従来の「SUPER TUESDAY」（特定火曜日発の割引）や「PREMIUM FRIDAY」（特定金曜日発の割引）、木曜日の増便記念キャンペーンも継続して実施し、日本人の集客に努める。

[インバウンド]

- ・エアソウル本社と連携し機内誌（2月号）での特集記事掲載のほか、エアソウルホームページ上でのレンタカー利用の個人旅行者向けキャンペーン及び期間限定での増便記念格安航空券キャンペーンを展開する。
- ・個人旅行者向けのPRを強化するため、パワーブロガーによる旬の観光情報を発信する。

[共通]

- ・日韓の旅行社と連携した旅行商品の販売を促進する。

県内発着の国際チャーター便の状況について

平成30年2月23日

観光戦略課

平成30年2月に、韓国（務安－鳥取、仁川－米子）との国際チャーター便が就航していますので、概要を報告します。

韓国からのお客様は、冬の山陰で温泉や雪景色、地元の旬の料理などを楽しまれています。

1 韓国・務安－鳥取 チャーター便

韓国・務安からのチャーター便が昨年に引き続き、2月15日(木)から3月1日(木)の間に全7往復運航されています。

- (1) 時期：平成30年2月15日(木)～3月1日(木) 全7往復14便
- (2) 運航時間：曜日 週3便火・木・土
時間 務安発 11:00－鳥取着 12:20 鳥取発 13:00－務安着 14:20
- (3) 空港：韓国・務安国際空港（韓国全羅南道・務安郡）－鳥取砂丘コナン空港
- (4) 使用機材：エンブラエル145（49人乗りジェット）
- (5) 運航会社：コリアエクスプレスエア（拠点空港：襄陽（ヤンヤン）国際空港）
- (6) 旅行会社：ジョイツアー（光州広域市の旅行会社で、日本旅行を専門に取扱う会社）
- (7) 運行形態：インバウンド専用運航（すべて韓国からのお客様）
- (8) 訪問先：鳥取砂丘、水木しげるロード、青山剛昌ふるさと館、倉吉白壁土蔵群・赤瓦、鳥取二十世紀梨記念館、由志園など

2 韓国・仁川－米子チャーター便

エアソウル米子ソウル便が好調なことから、集客が見込める韓国の旧正月休暇（2月15日から17日(土)）前後の2月14日と16日にインバウンドチャーター便が2回（2往復4便）運航されました。

- (1) 時期：平成30年2月14日(水)、16日(金) 全2往復
- (2) 運航時間：(14日) 仁川発 10:00－米子着 11:30
(16日) 米子発 18:00－仁川着 20:10
- (3) 空港：韓国・仁川国際空港－米子鬼太郎空港
- (4) 使用機材：A321（195席）
- (5) 運航会社：エアソウル
- (6) 旅行会社：複数の旅行社が共同で販売
- (7) 運行形態：インバウンド専用運航（すべて韓国からのお客様）
- (8) 訪問先：夢みなとタワー、お菓子の寿城、倉吉白壁土蔵群・赤瓦、松江城など
- (9) 実績：193人が搭乗（全195席。搭乗率 98.9%）

(公財) 鳥取県国際交流財団事務所の移転リニューアルについて

平成30年2月23日
交 流 推 進 課

平成30年4月に予定する(公財)鳥取県国際交流財団本部事務所の移転リニューアルについて、次のとおり準備を進めておりますので報告します。

1. 移転先の概要

- (1) 施設名：鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）3F
- (2) 所在地：鳥取市扇町21番地
- (3) 所 管：鳥取県教育委員会事務局社会教育課（指定管理者：鳥取県教育文化財団）
- (4) 占有面積：約88㎡（事務室・交流スペース）及び約16㎡（相談室）

2. 移転等にかかる準備状況

これまでにいただいた在住外国人の皆様からの意見なども踏まえ、以下のような準備を進めています。

区 分	対 応 策
移転情報の発信	①案内表示の充実（施設外） 鳥取駅から県民ふれあい会館への動線、県民ふれあい会館内の動線について関係機関と協議し、効果的な箇所での案内表示（5言語表記：日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語※一部タガログ語でも補記）を行うこととした。
	②案内表示の充実（施設内） 施設管理者の理解を得て、3階エレベーターホールにポスターの掲示やラック等の設置によるチラシの配架など実施することとした。
	③積極的な広報 多言語チラシの作成等による利用者及び関係者への移転周知広報（行政広報等も活用）を行うとともに、県下全域に多言語パンフレット、メディアを活用して財団のリニューアルと共にサービスの内容を周知し、地域での認知度を高めることで新たな利用者層を開拓する。
事業内容の充実（WEBの活用等）	WEBの活用による多言語情報や相談業務の充実、必要とされる場所に出向くかたちでの事業の充実に努める。
図書機能の重点化	財団の特性である日本語学習教材、ボランティア活動支援教材、外国語教材・雑誌等の充実を今後も図っていく。なお、現在保有する一般図書類は可能な範囲で県立図書館へ委譲（協議中）するなど有効活用する。
組織体制の確保	県職員の派遣を含め現体制を維持し、利用者へのサービスの維持向上を進める。
駐車場の確保	徒歩3分のところにある「新日本海新聞社ビル駐車場」について利用者スペースを確保した。（利用者には無償チケットを配布）

3. 開所式について

- (1) 日 時 平成30年4月上旬頃
- (2) 場 所 県民ふれあい会館 1Fホワイエ及び玄関
- (3) 主な出席者 県議会地域振興県土警察常任委員、鳥取県関係者（知事予定）、財団評議員、理事、監事、各市町村関係者、国関係機関（労働局、法務局）、国際交流・協力団体、鳥取大学、公立鳥取環境大学、留学生、日本語クラス関係者、他
- (4) 実施内容
 - 記念式典（看板序幕式、事務所視察）
 - パネル展（1Fホワイエに展示し、財団の活動を紹介）
 - 記念講演会（4F大研修室 テーマ「外国人から見た鳥取の暮らし～多文化共生の実践～」／県内在住の外国人の皆さんによるパネルトーク形式）

「2018平昌冬季オリンピック」の開幕式等への参加結果について

平成30年2月23日
交 流 推 進 課

本県の友好交流地域である大韓民国江原道（カンウォンド）の崔文洵（チェ・ムンスン）知事からの招待により、平井知事が平昌冬季オリンピック開会式に出席したほか、江原道知事主催歓迎夕食会などの場で、東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）参加地域の代表者に今年鳥取県で開催する総会への出席要請等を行い、大山1300年祭や山の日をアピールしました。

また、関連行事である平昌文化五輪・海外姉妹都市公演に参加したほか、鳥取県が設置した観光広報ブースでの観光PRや崔文洵江原道知事との二地域間会談、宋錫斗（ソン・ソクドゥ）江原道行政副知事との懇談などを行いました。

1 江原道知事主催歓迎夕食会

(1) 日 時 2月9日（金）午後4時から5時30分

(2) 場 所 大韓民国江原道平昌郡龍平^{ヨンピョン}リゾート・ドラゴンバレーホテル

(3) 概 要

- ・平井知事は、崔文洵江原道知事に対して、平昌オリンピック開催について祝意を伝えたほか、夕食会に参加している友好交流地域（中国河北省、モンゴル中央県）をはじめ各国の代表者と今後の友好交流について意見交換を行った。
- ・夕食会に参加しているEATOF参加地域代表者に、今年鳥取県で開催する総会への参加要請を行った。

<EATOF総会への出席要請を行ったEATOF参加地域代表者>

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ・フィリピン・セブ州 | ヒラリオ・デビッド知事 |
| ・インドネシア・ジョグジャカルタ特別州 | パク・アラン副知事 |
| ・マレーシア・サワラク州 | アブドゥル・カリム・ラブマン・ハムザ長官 |
| ・ラオス・ルアンパバーン州 | テツパチャン・ボンサバン副知事 |
| ・カンボジア・シェムリアップ州 | リ・サムレス副知事 |
| ・モンゴル中央県 | ジグジド・バトジャルガル知事 |

2 平昌冬季五輪式前公演・開幕式

(1) 日 時 2月9日（金）午後7時から10時

(2) 場 所 大韓民国江原道平昌郡大関嶺^{テガルリョン}・開幕式場

(3) 平井知事コメント

- ・江原道での冬季平昌オリンピック開幕に、鳥取県民を代表し、心よりお祝い申し上げる。世界の平和の祭典で日本選手も大きく飛躍することを祈る。
- ・平昌、東京、北京と東アジアでのオリンピックが開催され、世界中の注目が東アジアに集まる機会に、鳥取県も大交流時代を創造していく。

3 平昌文化五輪・海外姉妹都市公演への出席

(1) 日 時 2月10日（土）午後1時30分～2時00分

(2) 場 所 韓国江原道江陵市「五輪アートセンター」

(3) 概 要

- ・平成27年8月に韓国江原道で行われた北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットで平井知事が提案した平昌冬季オリンピックの際の交流地域による文化公演が、江陵市で文化五輪の一環として開催をされた。その初演に当たり、出演者を激励するとともに、鳥取県のプログラム冒頭で舞台上に立った。鳥取県のほか、中国吉林省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県からのパフォーマンスも披露された。

- ・鳥取県からは、舞踏公演団「桜道里（オードリー）」（19名）が、傘踊りなどのダンスパフォーマンスを披露した。
- ・平井知事は、公演の冒頭で、鳥取県の砂丘や大山などの魅力や文化について観客に訴えけるとともに、平昌冬季オリンピックの成功に向けてともに頑張ろうと呼び掛けた。

4 鳥取県広報ブースでの観光・物産PR

- (1) 日時 2月10日（土）午後2時30分～3時00分
- (2) 場所 韓国江原道江陵市「五輪フェスティバルパーク」
- (3) 概要

- ・江原道が江陵駅近くに設置した広報館「五輪フェスティバルパーク」内に鳥取県が出展した広報ブースで、平井知事が、「桜道里」のメンバーと共に傘踊りを披露するなど、鳥取県の観光、文化や物産のPRを行った。
- ・会場は、韓国だけでなく、世界各国からオリンピックに来訪した方が多く来場しており、試飲に供した地酒やお菓子の評判もよく、来場者に鳥取県への関心を高めることができた。

5 崔文洵（チェ・ムンスン）江原道知事との懇談

- (1) 日時 2月10日（土）午後3時30分～55分
- (2) 場所 韓国江原道江陵市セント・ジョンズ・ホテル
- (3) 概要

- ・平井知事は、誘致や文化五輪などに協力してきた鳥取県を代表して、平昌冬季オリンピックの開催について祝意を伝えるとともに、平和の祭典としてモデルとなるようなオリンピックの開催に尽力された崔文洵知事に敬意を表する旨を伝えた。
- ・崔文洵江原道知事からは、平昌オリンピック開催に至るまでの鳥取県の協力や今回の開幕式出席、文化公演団の派遣等について感謝の言葉が述べられた。また、パラリンピックの開催にむけて鳥取県の障がい者福祉政策を参考にしたことへの謝意も述べられた。
- ・今年8月に鳥取県で開催する予定の東アジア地方政府観光フォーラム（EATOF）総会について、平井知事が出席を要請したところ、崔文洵知事からは江原道としても参加したい旨の返事があった。
- ・平昌冬季オリンピックを踏まえ、新たな時代に向けて、両地域の20年を超える交流の実績を踏まえ、観光、物流など一層協力関係を進展させていくことで一致した。

（平昌文化五輪・海外姉妹都市公演での桜道里の公演）



（観光広報ブースで傘踊り披露）



（崔文洵江原道知事との二地域間会談）



第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテスト表彰式 「マンガアワードSHOW」の開催について

平成29年2月23日
まんが王国官房

第6回国際マンガコンテスト表彰式「マンガアワードSHOW」を以下のとおり開催します。
このイベントでは、表彰式に加えて、本県出身の人気声優らによる受賞作品の公開アテレコやトークショー、審査員によるまんが談義などを行い、日本のマンガ文化のすばらしさを発信します。
また、受賞作をはじめ、計18作品を掲載した作品集を発行します。

- 1 日 時 平成30年2月24日(土) 15:00~16:30
2 場 所 ANAクラウンプラザホテル米子 2階「飛鳥」(米子市久米町53-2)
3 内 容

(1) 表彰(SHOW)

- ・主催者あいさつ
- ・受賞作発表・表彰状授与
- ・受賞者スピーチ、審査員講評

(2) 受賞作品公開アテレコ&まんが談義&声優トークSHOW

<出演者>

- ・声優・近藤孝行さん、若林直美さん(鳥取県出身)
- ・国際声優コンテスト 受賞者 木村美言(今年度全国大会最優秀賞受賞)さん、更田明未さん
- ・マンガコンテスト審査員、受賞者

(3) 次回テーマ発表

4 受賞作品一覧

賞	作者(ペンネーム)	部門	タイトル	国籍・住所
最優秀賞	いざかやまつもと	4コマ	黒の旅人	日本・兵庫県
優秀賞	ひもと・はじめ	1コマ	いざ出航	日本・福岡県
優秀賞	不定期塗鴉	ストーリー	ともに	香港
審査員特別賞	バク・グニョン	1コマ	自撮り	韓国
審査員特別賞	犀 ヒツジ	ストーリー	350メートルの旅	中国
審査員特別賞	たけだ 武田 理央	ストーリー	度々旅	日本・京都府
U-15賞	天才ウルフガール	1コマ	船よい	日本・鳥取県
U-15賞	ますだ 増田 愛花	ストーリー	けんんとフランス旅行	日本・東京都
U-15賞	ぎんぴか	ストーリー	きみはたびびと	日本・高知県

※応募総数：世界25ヶ国・地域から705作品

5 外国人インフルエンサーによる情報発信

特定非営利活動法人映像産業振興機構のジャパンアンバサダー事業を活用し、日本文化を愛する日本在住の外国人(中国、韓国、台湾、香港)を本表彰式に招聘。水木しげるロードやコナン通りなども含めSNSで発信する。

6 作品集の概要

- ・発 売 日 平成30年2月24日(土)
- ・発売場所 山陰両県の主要書店、amazon、楽天ブックス
- ・仕 様 B5判 277ページ
- ・価 格 800円(税別)
- ・掲載内容 第6回まんが王国とっとり国際マンガコンテスト受賞作品、最終選考作品等18作品

伯耆国「大山開山 1300 年祭」関連のトピックス、行事等について

平成 30 年 2 月 23 日
西部総合事務所地域振興局

伯耆国「大山開山 1300 年祭」関連のトピックス、行事の開催状況等を報告します。

1 第 4 回 伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会総会の開催

○平成 30 年度事業計画案及び収支予算案について諮り、承認（ただし、負担金を支出する県・市町村の関連予算の成立が条件）。

- (1) 日 時 2月13日(火) 午後3時から4時まで
- (2) 場 所 米子コンベンションセンター 国際会議室
- (3) 出席者 54名《委員47名、連携協力7名》
- (4) 主な発言

〔松村 実行委員会会長〕

- ・昨年、多くのプレ・イヤーイベントを実施。民間団体等に 1300 年祭を盛り上げる様々な取組を行っていただき、大変有難かった。民間団体等の取組と我々のプロジェクトとシンクロさせて 1300 年祭を展開していきたい。
- ・1300 年祭を機に、国内外の多くの人に訪れていただき、リピーターになってほしい。
- ・特に地元の子ども達が、この地域に生まれ、暮らせることに誇りを持てるようなものになりたい。

〔福間 伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進議員連盟会長〕

- ・皆様のご努力の結果、いろいろなところに拠点が出来つつある。点が線となり、線が面となり盛り上がっていくことが大切。

〔小松 琴浦町長〕

- ・大山町には大山寺、三朝町には三徳山三佛寺、琴浦町には船上山こんじやく金石寺ちしやく（智積寺）があり、ぜひ 1300 年祭で盛り上げていきたい。今まで見えなかったことが見えてくる、きっかけの取組となるよう琴浦町も頑張っていく。



2 平井知事の春日大社訪問及び「名刀『古伯耆物』日本刀顕彰連合」の設立

○奈良県春日大社が所蔵する太刀が本県の中西部（旧伯耆国）で作られた「古伯耆物」であることが判明したことを受け、平井知事が春日大社を訪問し、花山院弘匡宮司と面談。

〔知事の春日大社訪問〕

日時 2月14日（水）午前10時45分から12時30分まで

場所 春日大社（奈良県奈良市春日野町160）

○平井知事から、日本刀の素晴らしさや、春日大社御創建1250年・伯耆国「大山開山1300年祭」のアピール等に共同で取り組む組織「名刀『古伯耆物』日本刀顕彰連合」の立ち上げを提案したところ、花山院宮司からは、組織の立ち上げに賛同いただくとともに、様々な連携について、前向きにご検討、ご協力いただく旨の返答をいただいた。

〔「名刀『古伯耆物』日本刀顕彰連合」を通じた連携（想定）〕

- ・春日大社御創建1250年と伯耆国「大山開山1300年祭」の連携したPR
- ・伯耆安綱の顕彰、PR
- ・古来からの日本の歴史・文化を今に伝える古伯耆物を中心とした日本刀の魅力のPR
- ・春日大社と伯耆国及び大山の歴史的つながりの検証



3 「伯耆国・大山開山1300年の歴史と文化を知る」歴史フォーラムの開催

○「伯耆国・大山 歴史読本」の発刊(1/26)を記念し、東京都内で「伯耆国・大山開山1300年の歴史と文化を知る」歴史フォーラムを開催し、鳥取県・大山の歴史の魅力をPRする予定。

(1) 日時 3月18日（日）13:00～15:30（予定）

(2) 場所 秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区外神田1-18-13秋葉原ダイビル4階）

(3) 定員 400人

(4) 内容

ア 講演「日本の歴史は大山からはじまった（仮）」

講師：井沢元彦氏（歴史小説家）

イ クロストーク「伯耆国・大山の魅力再発見（仮）」

出演者 井沢元彦氏×上田まりえ氏（タレント：とっとりふるさと大使）

(5) 参考（「伯耆国・大山 歴史読本」について）

・伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会が（株）KADOKAWAに委託して制作。

・大山の絶景写真、著名人のインタビュー、専門家による歴史論考、史跡・観光スポットガイド、グルメ情報などを収録したガイドブック。

・県内の書店でベストセラー第1位（※2月2日、本の学校今井ブックセンター調べ）になるなど、好評発売中。



4 伯耆国「大山開山1300年祭」記念シンポジウムの開催

○伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会アドバイザーに就任いただいている(株)JTB代表取締役社長 高橋広行氏の基調講演及び同氏と(株)ジャパンインバウンドソリューションズ代表取締役社長 中村好明氏、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会会長 松村順史氏の3名による鼎談を実施し、大山開山1300年祭等を通じた観光振興やインバウンド対策による地域活性化等について議論を深める。

- (1) 日 時 3月27日(火) 午後1時30分から4時まで
- (2) 場 所 米子コンベンションセンター 小ホール(米子市末広町294)
- (3) 対 象 者 観光事業者、自治体関係者ほか
- (4) 参加予定 約300名
- (5) 内 容

ア 基調講演「新たな交流創造で山陰・鳥取を元気に」

講師 (株)JTB 代表取締役社長 高橋 広行 氏

イ 鼎談「世界に開かれた山陰・鳥取 地方におけるインバウンド対策のトップランナーに！」

登壇者 (株)JTB 代表取締役社長 高橋 広行 氏

(株)ジャパンインバウンドソリューションズ 代表取締役社長 中村 好明 氏

伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会 会長 松村 順史 氏

5 「私の好きな大山」写真コンテスト応募作品への投票

○大山の様々な魅力をPRするため、写真コンテストの募集を行ったところ、440作品(県内224作品、県外216作品)の応募があり、現在、WEB投票(2/1~2/23)を実施中。

○WEB投票で得票数上位30作品を入選とし、さらに審査会を経て入賞6作品(最優秀賞1作品、優秀賞5作品)を決定予定。

※入選作品は、3月17日(土)~25日(日)に米子市美術館で開催する『JPA公募展』で展示予定。また、10月に実施する「大山を詠む！」俳句コンテストの兼題としても活用。

[WEB投票の概要]

- (1) 投票期間 2月1日(木)午前10時~23日(金)午後6時まで
- (2) 投票方法 WEBによる投票 (<http://www.daisen1300.org/contest/>)
- (3) 選出作品 得票上位30作品を選出(入選)

